

# どうしてごみの減量が必要なの？

R3とR4では一人当たりごみ量が約55g減と大幅に減量しています！

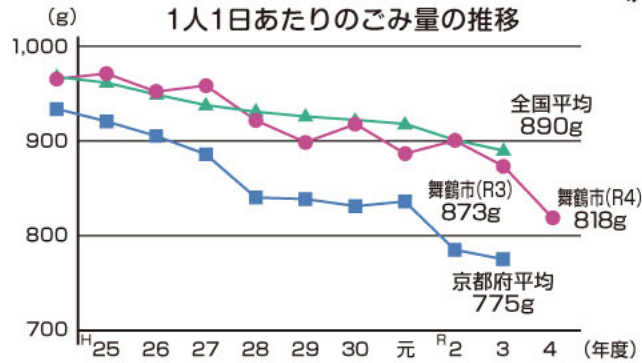


## 舞鶴市の1人1日あたりのごみ量の状況

ごみ処理手数料見直し後一人当たりのごみ量は大幅に減少しましたが、可燃ごみとして排出されたものの中には紙ごみや食品ロスが多く含まれています。

本市のごみ量は全国平均を下回るものの、京都府平均と比較すると、まだ多い状況にあります。

ごみ減量は進んでいますが、さらなるごみの減量が必要な状況にあります。



## ごみを減らせば、将来負担を小さくすることができます



ごみを減らせば、将来負担を小さくすることができるよ。私たちのライフスタイルを少しずつ見直し、ごみ減量やリサイクルに取り組むことが、持続可能な社会の実現に繋がるんだ。

ごみの処理には多額の費用を要し、環境への負担も発生します。

最終処分場の増設工事  
**約15億円**  
(令和4年完成)

清掃事務所の長寿命化工事  
**約38億円**  
(令和6年完成予定)

リサイクルプラザも  
**大規模改修**が必要



ごみを減らせば

将来はより小さい施設に

- 整備費用減
- 環境負担減
- CO2減
- 最終処分場が延命

# さらなるごみ減量・資源化の促進にむけて

## ごみ処理基本計画について

ごみの減量や資源化をさらに進め、舞鶴の環境をより良いかたちで次の世代に継承していくため、舞鶴市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定しています。

**基本理念**

**地域みんなで3R**

～誰もが住みやすい持続可能なまち舞鶴～



**基本方針 2**

**住み続けられる持続可能な地域**

- ライフスタイルの変化や高齢化への対応
- ごみの適正処理
- 公平な受益者負担の実現

**基本方針 1**

**3Rの推進**

市民 事業者 行政

- 食品ロスの削減
- プラスチックごみの減量・資源化・適正排出
- リユース(再使用)の取り組み
- 紙ごみの減量・資源化
- その他の取り組み



**基本方針 3**

**市民・事業者・行政が連携・協力して取り組む**

- ごみのことを知る・学ぶ
- 連携・協力と役割分担
- コミュニティの維持・活性化